

夢・夢・夢 人生、夢いっぱい！～エルサルバドル人から学ぶ～

所属	愛知県立半田高等学校	実践者	樋口 耕平
対象	高校2年生	時間数	2時間(50分×2)
場所	教室	実践教科	英語
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・エルサルバドルという国に肯定的に出会う。 ・エルサルバドル人の夢を知ること、自分たちの未来を前向きに考える。 ・発展途上国に関する知識と理解を深める。 		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	<p>◆エルサルバドルと肯定的に出会う</p> <p>①アイスブレイキング 自己紹介:5歳の時の夢は～でした！ 高校を卒業したら～に挑戦したいです！</p> <p>②先生が出会ったエルサルバドルはこんなところでした！ 教師海外研修で見てきたこと、出会った人々についてパワーポイントで紹介</p> <p>③エルサルバドル人の大切なもの・将来の夢って何だと思う？ グループで自由に話し合い、エルサルバドル人の解答を予想し、全体で共有する。</p> <p>④わたしのたいせつなもの・将来の夢 自分のたいせつなもの・将来の夢をワークシートに書き出し、思いを再確認することで、次のアクティビティにつなげる。</p>	<p>パワーポイント 模造紙 ペン ワークシート</p>
	2	<p>◆エルサルバドル人の思い、自分たちの思い</p> <p>①アイスブレイキング なりきり自己紹介:私はエルサルバドル人なんです！</p> <p>②エルサルバドル人の思い、自分たちの思い 現地でインタビューした「たいせつなもの・将来の夢」と、前時で生徒が書いた同じ質問の結果を両方発表し、比較する。</p> <p>③エルサルバドル人の思いを知って、感じたこと グループで自由に話し合い、全体で共有する。</p> <p>④夢をかなえるために必要なこと、できること グループで話し合い、紙にアイデアを書き出し、各グループで導き出した「提言」を全体で発表</p> <p>⑤エルサルバドルで活躍する日本人 エルサルバドルのために日々がんばる日本人のメッセージを紹介</p> <p>⑥全体アンケート</p>	<p>パワーポイント 模造紙 ペン 映像 ワークシート</p>
成果	エルサルバドル人の「たいせつなもの・将来の夢」と、自分たちのそれらを比較したことで、生徒たちは新鮮な驚きを感じていた。日本では平和で安全な生活ができることをはじめ、「当たり前のことが当たり前に行えることへのありがたさ」を改めて実感したという生徒が多かった。		
課題	2時間という非常に限られた間での授業だった。もっと時間が確保できていれば、生徒たちはさらに深い考察ができていたと思う。		
備考	文系クラスで実施したため、海外の文化や事情に興味関心のある生徒は少なくない。そのおかげもあり、終始明るく前向きな雰囲気での授業を進めることができた。		

[授業実践の詳細]

1 時限目「エルサルバドルと肯定的に出会う」

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイキング
…自己紹介「5歳の時の夢は～でした!」「高校を卒業したら～に挑戦したいです!」
生徒たちは人間関係がすでにできているが、普段話さないような内容を“自己紹介”することで、お互いをさらに理解する活動を行った。
- ② 先生が出会ったエルサルバドルはこんなところでした!
エルサルバドルの基本情報や教師海外研修で体験してきたこと、現地の学校や生徒の様子、深刻な治安事情などをパワーポイントで紹介した。生徒たちにエルサルバドルをよりに身近に感じてもらい、真剣に考えるきっかけになるようにした。
- ③ エルサルバドル人のたいせつなもの・将来の夢って何だと思う?
②の紹介を通じて、教員が実際に現地でインタビューしてきた「たいせつなもの・将来の夢は何?」という問いに対し、エルサルバドル人はどう解答したかを事前に生徒たちに予想させた。
- ④ わたしのたいせつなもの・将来の夢
自分たち自身の思いをアンケートシートに書き出し、次回のアクティビティの備えとした。シートは無記名とし、生徒同士で内容共有もしないことで、生徒たちがより自由に書けるように配慮した。

この時限のねらい

馴染みの薄いエルサルバドルについて紹介し、様々な写真やデータを通し、興味・関心を持つ。また、エルサルバドル人と自分たちの大切なものや夢について想像して、次回のアクティビティにつなげる。



<エルサルバドル紹介パワースライドで使用した写真>

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 生徒たちは、そもそもエルサルバドルという国すら知らない者が大半だったが、パワーポイントでの紹介を通して、世界にはたくさんの知らない国々があり、自分たちとはまったく異なる生活環境で暮らす人々がいるという事実を認識することができた。
- ◇ インタビューの結果を事前に全員で予想したことは、実際の結果をより興味深く知るためのいいステップになった。
- ◇ 自分たちの大切なものや夢を書くことは、なんだか気恥ずかしいものではあるが、生徒たちはこちらが予想した以上に正直な思いをたくさん書いてくれていたと思う。

【生徒の感想より】

- ・日本と全然違うので、世界をもっと知りたくなった。
- ・日本に比べたら恵まれない面も多いけど、その中で明るく生活しているように見えた。
- ・ププサが気になる。

- ・途上国は国全体が田舎で何もないと思ったが、都市は結構発展していることは驚いた。
- ・途上国にはファストフード店がないと思っていた。
- ・武器を持った警備員や警察が街中にいるのはすごく怖い。
- ・平和な日本に生まれてよかった。
- ・治安が悪いのに、写真の中の子供達の笑顔がとてもいい。
- ・治安が悪そうな国には行きたくない。

3 使用した教材

<教材1> エルサルバドル紹介パワーポイント

2 時限目「エルサルバドル人の思い、自分たちの思い」

1 子どもの活動の流れ

① アイスブレイキング

…なりきり自己紹介:私はエルサルバドル人なんです!
エルサルバドル人の写真を見て、「名前・年齢・大切なもの・将来の夢」を自由に想像し、その人になりきってグループ内で自己紹介をした。

② エルサルバドル人の思い、自分たちの思い

1. ①で紹介したエルサルバドル人たちの正解を全体で共有し、自分たちが話した内容と比べる。
2. 前時で生徒たちが書いた「たいせつなもの・将来の夢」を集約したものを全体で共有。
3. エルサルバドル人に聞いた同じ質問を集約したものを全体で共有。

③ エルサルバドル人の思いを知って、感じたこと

エルサルバドル人と自分たちの解答を比較し、気づいたことをグループ内で共有。

④ 夢をかなえるために必要なこと、できること

エルサルバドルの社会事情や人々の思いを知ったところで、実際に自分たちが「夢をかなえるために必要なこと・できること」をグループで話し合い、派生図を使って書き出した。話し合いの結果を1つの「提言」にまとめ、各グループが全体で発表した。

⑤ エルサルバドルで活躍する日本人

今回の研修で出会ったエルサルバドルでがんばる日本人3人のメッセージ動画を観た。

⑥ 全体アンケート

この時限のねらい

エルサルバドル人と自分たちの思いを比較することで、違いや共通点を感じ取る。また、自分たちの将来について再考し、必要なこと・できそうなことをみんなで考える。



<なりきり自己紹介で使用した写真>

＜エルサルバドル人の思い、日本人の思い集計データ＞

・2年8組(34人:女子25人、男子9人)の思い		
たいせつなもの	将来の夢	今欲しいもの・したいこと
第1位・・・友達(23人)	第1位・・・大学生(6人)	第1位・・・時間(10人)
第2位・・・家族(19人)	第2位・・・結婚(4人)	第2位・・・お金(7人)
第3位・・・お金(8人)	第3位・・・留学(3人)	第3位・・・睡眠(6人)
・エルサルバドル人の思い		
第1位・・・家族(47人)	第1位・・・医者(9人)	第1位・・・勉強(16人)
第2位・・・勉強(10人)	第2位・・・勉強(8人)	第2位・・・平和(9人)
第3位・・・平和(4人)	第3位・・・教師・看護師(6人)	第3位・・・卒業(7人)

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ エルサルバドル人の思いと生徒たちの思いの結果はかなり異なっていた。このことに関し、多くの生徒たちが驚きを感じていたようである。特にエルサルバドル人が「たいせつなもの」や「今ほしいもの」に勉強や平和な暮らしを挙げていたことは印象的だったようである。

【生徒の感想より】

- ・自分達の夢で多かった「大学生」や「留学」はエルサルバドル人と比べ、実現し易いと思う。
- ・勉強や平和について多くの人が答えていたが、日本人が簡単に発想できることではない。
- ・勉強ができることが当たり前環境にいるから、自分は勉強が嫌だと思ったりするのか。
- ・したくてもできないことがエルサルバドル人の大切なものや夢に多くあった。(特に平和)
- ・途上国のエルサルバドル人にはお金がランキングに入っていないのに、先進国の日本ではお金を欲しいと解答している人が多いのは、考えさせられる。
- ・エルサルバドル人は人助けをしたくて医者になりたいのか、それともお金が欲しくて医者になりたいのか。日本人の場合は・・・金？
- ・日本人は時間やお金が欲しいなど、自分のことばかり考えているが、エルサルバドルの方が周りに目を向けていると思う。

3 使用した教材

- ＜教材2＞ 教師海外研修で集めたエルサルバドル人の写真
 ＜教材3＞ 「エルサルバドル人と日本人の思い」をまとめたパワーポイント
 ＜教材4＞ エルサルバドルで撮影した青年海外で活躍する日本人のメッセージ映像

■ 全体を通して

1 授業の様子

- ◇ 先述の通りエルサルバドルを知らない者が大半だったので、すべてが未知との出会いだったようである。本校において、特に文系の生徒は海外に興味・関心のある者は少なくない。そういった生徒たちにとっては刺激になることができたのではないか。また、今まで関心が薄かった者にとっても世界に目を向けるきっかけになってほしいと思う。

- ◇ 実践授業を行った対象生徒は高校2年生なので、ちょうど進路と向き合い、動きはじめようとするタイミングでもある。クラスの中でもまだ将来の展望がうまく描けていない生徒は多い。しかしながら、今回このようにエルサルバドル人のたくさんのビジョンに触れたことで、自分たちの将来を考える機会になってくれれば幸いである。

【生徒の感想より】

- もっと世界のことやいろいろな国を知りたい。毎日の当たり前に感謝して生きたい。
- 勉強できる環境のありがたさを再度かみしめて3年生になります。
- エルサルバドルでがんばっている日本人みたいに自分も誰かに影響を与えられる大人になりたい。
- 自分の見ている世界はまだまだ小さいので、もっと深く広く物事を考え、行動し、後悔のないように生きたい。
- グループやクラスの皆が将来についてしっかり考えていると感じた。
- 世界で活躍する日本人がいてかっこいいと思った。私も今の日本の平和な環境をありがたく思わないといけない。
- 自分の夢を再確認することができた。自分の夢は恵まれている環境にいるからこそ目指せるものだと思う。
- 夢を追うことができる環境にいるのに、夢がない自分は寂しいと思った。
- 夢を叶えるには自分の力はもちろん必要だけど、人脈や環境などのつながりも大切であると思った。
- 生きている環境が違うと、考え方も違うのだと思う。
- 恵まれている環境にいるからこそ、強い意志や決断力が大切だ。



<パワーポイントによる国紹介>



<夢を叶えるために必要なこと>

2 参考文献・資料

- 1) 安全対策ブリーフィング JICAエルサルバドル事務所
- 2) エルサルバドルを知るための55章 明石書店